

温滋錠

第2類医薬品

- ◆ 身体の血液の流れや水分代謝、自律神経の働きは、痛みの症状と深く関わっており、これらのバランスが乱れると膝関節や腰などで痛みを起しやすくなります。
- ◆ 温滋錠は、「疎経活血湯」という処方^{そけいかくけつとう}を基本にした漢方薬で、体力中等度で、痛みがあり、ときにしびれがある人の関節痛や腰痛などに効果があります。

⚠ 使用上の注意



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 胃腸が弱く下痢しやすい人。
 - (4) 高齢者。
 - (5) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、腹痛

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
下痢
4. 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
5. 他の医薬品等を併用する場合には、含有成分の重複に注意する必要があるため、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

体力中等度で、痛みがあり、ときにしびれがあるものの次の諸症：関節痛、神経痛、腰痛、筋肉痛

用法・用量

次の量を食前又は食間^注)に、コップ半分以上のぬるま湯にて服用して下さい。

^注)「食間」とは食後2～3時間を指します。

年 齢	1 回量	1 日服用回数
成人(15歳以上)	5 錠	3 回
15歳未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関連する注意〉

用法・用量を厳守すること。

成分・分量

本剤15錠(4.5g)中

イレイセン……0.75g	チンピ……0.75g	} 疎経活血湯エキス……2.5g
カンゾウ……0.5 g	トウキ……1.0 g	
キョウカツ……0.75g	トウニン……1.0 g	
ゴシツ……0.75g	ビヤクシ……0.5 g	
ジオウ……1.0 g	ブクリョウ……1.0 g	
シャクヤク……1.25g	ボウイ……0.75g	
ショウキョウ……0.25g	ボウフウ……0.75g	
センキュウ……1.0 g	リュウタン……0.75g	
ソウジュツ……1.0 g		

添加物としてカルメロースカルシウム、軽質無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウム、デキストリン、トウモロコシデンプンを含有する。

- ・本剤は淡褐色で、特異なおいを有し、味はわずかに苦く後甘い素錠です。
- ・本剤は天然の生薬を原料としていますので、多少色調の異なることがありますが、効果に変わりはありません。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4) 1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用すること。

温滋錠は生薬の特性を活かした漢方薬ですので、あなたの体質や病状を考えて正しく服用することが大切です。

あなたの病気を早く治すため、お薬の服用に際しては、温滋錠のことをご理解いただいている薬局・薬店の先生方とよくご相談下さい。

お問い合わせ先

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、又は下記にお願いします。

剂盛堂薬品株式会社 学術部

電話 073(472)3111(代表)

受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00

(土、日、祝日を除く)

製造販売元

剂盛堂薬品株式会社

〒640-8323 和歌山市太田二丁目8番31号